

4. 介護ロボットおよび介護支援機器・福祉用具の使用法（手順チェックリスト）

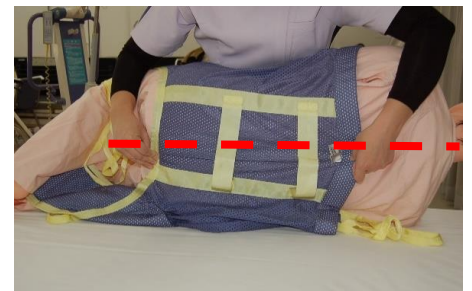
1) 介護リフト

(4) 介護リフトの使用手順および注意事項

① つり上げ式床走行リフトの使用手順（チェックリスト）

④ 脚分離型つり具のベッドから車椅子へ

項目	No.	手順	留意点や手順のねらい
使用前の点検	①	使用物品（スリング、リフト、車椅子）の準備と点検をする。	
使用前の準備	②	リフトの赤いボタンを右にひねりながら手前に引き出す。	
	③	リフトのブレーキは解除しておく。	
介助開始時のコミュニケーション	④	利用者にあいさつをする。	
	⑤	これから行うことについての説明を行い、同意を得る。	
	⑥	利用者の体調を確認する。	
つり具を利用者の下に敷く	⑦	対面の側臥位にし、つり具のストラップを身体の下に差し込む。	ローバックのときは臀部の位置より下側（足側）にする。 ハイバック4点吊りの場合は背を上げないため、しっかりと合わせること。
	⑧	つり具を身体にかけて、つり具の中央と背骨を合わせる。	利用者の仙骨につり具を合わせるようにする。
	⑨	つり具のたるみをとるように身体とベッドの間に押し込む。	仰臥位に戻すとき、身体とつり具がずれないようにするため。
	⑩	仰臥位に戻し、身体の下からつり具を引き出す。	



	⑪	つり具が中央にあることを確認する。	
	⑫	股の下を通し、交差させる。	つり具が利用者の中央にあれば、左右のストラップの長さが同じになるため、必ず確認が必要。
		ローバック	ハイバック
つり上げの準備	⑬	ベッドの背を利用者が苦しくない程度までギャジアップする。	ストラップをハンガーにかけたら膝を立て、腋の下で押さえるようにして膝が割れるのを防ぐ。
	⑭	ハンガーにストラップをかけ、スイッチを押し、つり上げる。	スイッチを押してつり上げる。(利用者の頭はつり具が持ち上げる)
	⑮	ストラップに張力がかかり、臀部が浮き上がる寸前にスイッチを止め、「圧抜き」をする。 ・利用者の上腕部を前に引く ・つり具の股のしわをとり、股に食い込まないように軽く膝を立ててつり具を膝側に少し引く。	ストラップに張力がかかり、臀部が浮き上がる寸前にスイッチを止め、「圧抜き」をする。
つり上げ	⑯	ストラップのすべてがハンガーのフックにかかっていることを確認する。	ストラップのすべてがハンガーにフックにかかっていることを確認する。
	⑰	利用者の肩の下に手を入れて、スイッチを押して上昇させると同時に、利用者の上半身を起こす。	スイッチを押してさらに上昇させ、臀部が浮き上がったなら、利用者の足首を持ち上げてベッドの外に出す。



	⑱	臀部が浮き上がる程度まで上昇したら、足首を持ち上げてベッドの外に出し、身体をだいて移動する。	
a. 後方からキャスター上げをして着座			
着座の準備	⑲	車いすのレッグサポートを外し、ブレーキを解除しておく。	レッグサポートを外せない場合は、そのままおこなう。
	⑳	親指と人差し指だけでスイッチを持つ。	
着座	㉑	両手で車椅子のグリップを持ち、キャスターを上げる。	
	㉒	膝裏が車椅子のシートに接触するくらい車椅子を傾ける。困難な場合は、臀部が車椅子のバックサポートを滑り落ちるようにする。	
	㉓	シートに臀部がついたら、スイッチを押し続けながら車椅子を後方に少しずつ移動させ、キャスターをゆっくり降ろす。	車椅子を後方に移動させることによってハンガーが頭にぶつからないようになる。
	㉔	骨盤が車椅子のバックサポートと正確に平行になり、臀部が十分に深く座れるようにする。	失敗したら、再度つり上げてやり直す。
移乗後の安全、安楽の確認	㉕	利用者の姿勢や衣服にゆがみ、ひねりがないか確認する。	
	㉖	利用者自身に苦痛や体調の悪化がないか確認する	
b. 前方から膝を押して着座			
着座の準備	⑲	介護者は利用者の前に立つ。	
	⑳	車椅子のブレーキをかけておく。	
着座	㉑	車椅子のシートから15cm程度まで降りたら、スイッチを親指と人差し指で持ち、前から両膝を後方に押し付ける。この時、利用者の背中が車いすのバックサポートにあたって、車椅子のキャスターが浮き上がるようにする。	
	㉒	そのまま降ろしていき、着座するにつれてキャスターを降ろしていく。	ハンガーが頭にぶつからないように注意する。
移乗後の安全、安楽の確認	㉓	利用者の姿勢や衣服にゆがみ、ひねりがないか確認する。	
	㉔	利用者自身に苦痛や体調の悪化がないか確認する	
c. 取っ手引き着座			
着座の準備	⑲	介護者は利用者の横に立つ。	
	⑳	車椅子のブレーキをかけておく。	



着座	⑳	座面から15cm程度まで降ろしたら、つり具の取っ手を後方（車椅子のバックサポート側）に引きながら、着座させる。	キャストが浮き上がる程度まで引くと上手く着座ができる。取っ手を上に引くとつり具が破れる可能性がある。
移乗後の安全、安楽の確認	㉑	利用者の姿勢や衣服にゆがみ、ひねりがないか確認する。	
	㉒	利用者自身に苦痛や体調の悪化がないか確認する	
d. 車椅子のキャスト上げ着座			
着座の準備	㉓	介護者は利用者の前に立つ。	
	㉔	車椅子のブレーキをかけておく。	
着座	㉕	両手で車椅子のフットサポートのフレームを持ち、キャストを上げる。	
	㉖	着座させる。	車椅子に深く着座できる位置になるよう、臀部の位置を調整する。
移乗後の安全、安楽の確認	㉗	利用者の姿勢や衣服にゆがみ、ひねりがないか確認する。	
	㉘	利用者自身に苦痛や体調の悪化がないか確認する。	

